

2023年11月1日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 山 口 銀 行
株式会社 YMFG ZONE プラニング
山 口 キ ャ ピ タ ル 株 式 会 社

長門湯本温泉における地域共創プロジェクトについて ～ローカルと都市がつながる魅力的な観光まちづくり～

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介、以下「YMFG」といいます。）の子会社である山口銀行（頭取 曾我 徳将）、YMFG ZONE プラニング（代表取締役 藏重 嘉伸）、山口キャピタル（代表取締役 伊藤 忠志）は、長門湯本温泉の老舗旅館「六角堂」を承継し大規模リノベーションによる旅館再生を行う株式会社SOIL Nagatoyumoto（代表取締役 岡 雄大）とともに、長門湯本温泉を拠点として周辺地域の活性化や観光振興を目指す地域共創プロジェクトを進めていくことを、下記のとおりお知らせします。

記

1. 経緯

- 山口銀行およびYMFG ZONE プラニングは、2017年9月に締結した長門市との「地方創生に係る包括連携協定」に基づき、新たな民間投資の促進を図るために、長門湯本温泉観光まちづくりの推進や創業支援・事業承継など地域課題解決に向けた活動を行ってきました。
- 長門湯本温泉の中心に位置する創業1902年（明治35年）の老舗旅館「六角堂」は事業承継への課題を抱えていたことから、YMFG ZONE プラニングおよび山口キャピタルは、エリアマネジメント会社の長門湯本温泉まち株式会社と連携のうえ、株式会社Stapleをパートナーとして、地域の事業者とともに連携して、地域としての「面的再生」を加速していく地域共創プロジェクトの立ち上げに至ったものです。
- 株式会社Stapleと共同してプロジェクトを推進していくうえで、YMFGのグループとして、パートナーである株式会社Stapleとの合弁会社の設立に際して、一般財団法人 民間都市開発推進機構との共同出資により組成されたマネジメント型まちづくりファンド「長門湯本温泉まちづくりファンド投資事業有限責任組合（以下「長門湯本ファンド」といいます。）」を活用し、このたび新設された株式会社SOIL Nagatoyumotoに共同出資を実施しました。
※「マネジメント型まちづくりファンド」とは、民間都市開発推進機構が地域金融機関と連携して、一定のエリアをマネジメントしつつ、当該地域の課題解決に資するリノベーション等の民間まちづくり事業を連鎖的に進めるため、当該事業へ出資等を行うファンドをいいます。

2. 事業概要（別紙「完成イメージ図」をご参照ください）

事業者	株式会社SOIL Nagatoyumoto（代表取締役 岡 雄大） ・本 社：山口県長門市 ・資本金：50百万円 ・株 主：株式会社Staple、長門湯本ファンド ・川、山、海、温泉といった長門地域をまるごと楽しむアクティブ層の為のSOIL（土壌）を最大限に活用しながら、宿泊事業を行う ※株式会社Staple（代表取締役 岡 雄大）について ・本 社：広島県尾道市 ・広島・瀬戸田「ローカル」と東京・日本橋「都市」に拠点を置き、徒歩20分圏内の地域にフォーカスした企画・不動産開発・運営を行う
-----	--

スケジュール (予定)	2023年11月：第1期工事（建物一部解体等）着手 2024年 3月：第2期工事（内装・外装等）着手 2024年12月：完成 2025年 3月：開業
総事業費	約8億円（解体費を含む）

3. YMF Gのグループ各社の役割（別紙「スキーム図」をご参照ください）

山口銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・新設会社への融資およびメインバンクとしての支援 ・長門湯本ファンドへの出資
YMF G ZONEプランニング	<ul style="list-style-type: none"> ・新設会社への社外取締役派遣による経営参画（予定） ・地域事業者とのワークショップなどのイベント企画や、地域内外からの集客に関するコンサルティング ・YMF Gのグループ各社との連携・連絡・調整
山口キャピタル	<ul style="list-style-type: none"> ・新設会社への監査役派遣（予定） ・長門湯本ファンドへの出資

4. 長門湯本ファンド概要

名称	長門湯本温泉まちづくりファンド投資事業有限責任組合
投資対象	長門湯本エリアにおいて、まちづくりの核となる施設を整備することで、地域課題解決に資する事業者
ファンド規模	1億円
存続期間	2019年3月（設立）～2034年2月（15年間）
組員	無限責任組員：山口キャピタル（出資額：100万円） 有限責任組員：山口銀行（出資額：490万円） 民間都市開発推進機構（出資額：500万円）
投資実績	2020年3月：公衆浴場「恩湯」事業を承継する長門湯守株式会社に対して第1号案件として投資実行

5. YMF Gのマテリアリティ

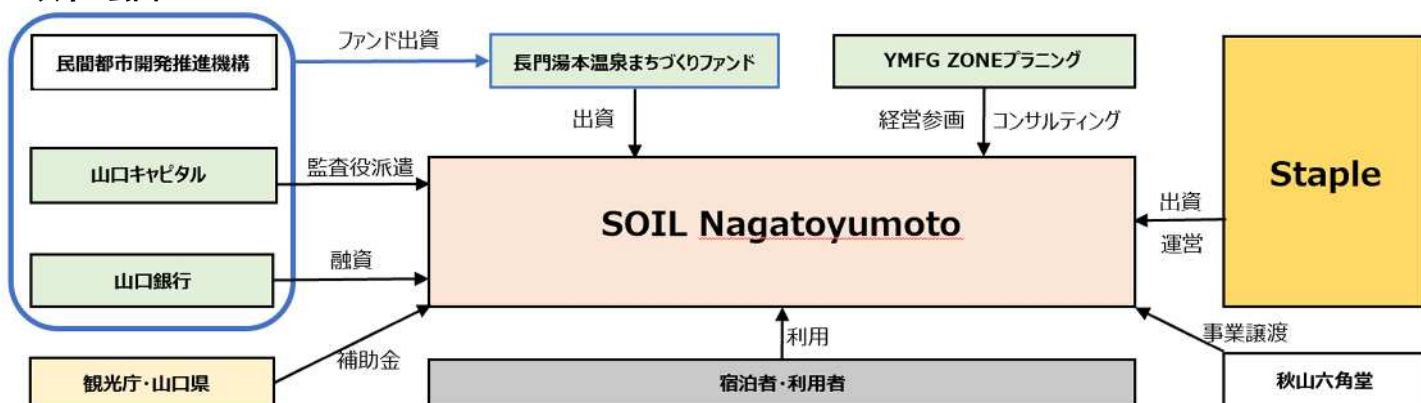
YMF Gは持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」、「③地域コミュニティとの連携強化」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・経済活性化への取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 従業員全員の働きがいへの取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 （ダイバーシティ&インクルージョン）	 強固な経営基盤づくりへの取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 YMF G ZONEプランニング 担当：田中 TEL：080-7417-5854
 担当：原田 TEL：080-4902-1464
 山口キャピタル株式会社 担当：原田 TEL：082-258-9871

■スキーム図



■完成イメージ図



＜施設の特徴＞

- ・客室は全22室。リバービューを望め川辺を感じられる。
- ・6階のサウナからは、長門湯本温泉街のキラコンテツである音信川・川床を一望できる。
- ・1階は全面ガラス張りのレストラン。解体後の空き地はポケットパークとして地域に開かれた施設となり、長門湯本温泉のキーワードである「オソト天国」や「そぞろ歩き」と高い親和性を持つ。
- ・アクティビティセンターは地域の体験型観光の案内所として、若年層を中心とした観光のハブ的役割を担う。